

## 第 4 章 地域保健福祉の推進



## 第1節 健康危機管理

### 1 健康危機管理に関する研修会・連絡会

表1 健康危機管理に関する研修会・連絡会の開催状況

(令和5年度)

実施日時 開催場所	内 容	参集者	参加 人数
第1回 令和5年8月24日(木) 15:30~16:30 第2回 令和5年9月22日(金) 15:30~17:00 第3回 令和5年11月30日(木) 15:30~17:00 津幡町役場	「災害時の保健活動連絡会」 ・避難行動要支援者名簿の作成と活用 ・モデル事例について、個別避難計画の検討 ・令和5年7月の大雨に際して避難した、医療的ケア児の避難状況を訪問してヒアリング ・ヒアリング結果を基に、個別避難計画の修正 助言者：石川県立中央病院 災害看護専門看護師 登谷 美知子氏	津幡町保健師、石川中央保健所職員	7名
令和5年11月1日(水) 9:30~11:30 石川県庁	「管内行政栄養士連絡会」 ・管内保育所・学校の肥満やせの状況について ・令和5年奥能登地震の被災地派遣事例報告 講師：南加賀保健福祉センター 企画調整課長 藤川 千恵子 管理栄養士	管内行政栄養士	11名
令和5年11月2日(木) 10:00~12:00 石川中央保健所	「第1回 健康危機管理体制に係る所内訓練」 ・災害時の県職員・保健所職員の対応について ・通信機器の取り扱いについて ・EMIS、県防災ポータルについて ・地震等災害時初動マニュアルを用いた実動訓練	保健所職員	19名
令和5年12月7日(木) 13:30~15:30 石川中央保健所	「第2回 健康危機管理体制に係る所内訓練」 ・搬送車の養生について ・実動訓練(防護服の着脱について、患者搬送について) ・健康危機管理対処計画について	保健所職員	17名

## 2 令和6年能登半島地震に関する対応（令和6年1月～3月）

令和6年1月1日に発生した能登半島地震の被災者支援のため、被災市町への職員派遣、管内の集団避難所、二次避難所支援に対応した。

表1 管内避難所への対応

実施日	実施内容	延べ巡回避難所数
令和6年1月4日～5日	一次避難所巡回	12か所
令和6年1月～2月	集団避難所、二次避難所巡回	34か所

※令和6年1月31日以降は静岡県保健師チームが応援に入り、集団避難所、二次避難所を巡回した。

表2 連携会議等

実施日	実施内容	延べ回数
令和6年1月～2月	金沢以南保健医療福祉調整本部会議の開催	11回
令和6年2月～3月	管内市町と2次避難者への対応打ち合わせ会	3回
令和6年2月～3月	静岡県保健師チームとのミーティング	110回

表3 被災地への職員派遣

派遣日時	内容	派遣先	派遣延べ人数
令和6年1月3日～4日	避難所の衛生指導等	志賀町	2名
令和6年1月5日～7日	避難所の衛生指導等	能登町	3名
令和6年1月6日	避難所の栄養指導等	七尾市	1名
令和6年1月7日～3月30日	派遣保健師の業務調整、町保健師のサポート等	穴水町	115名
令和6年2月1日～4日、13日～16日	派遣管理栄養士の業務調整、市町管理栄養士のサポート等	能登北部保健福祉センター	2名

表4 1.5次避難所（いしかわ総合スポーツセンター等）への対応

実施日	実施内容	派遣延べ人数
令和6年1月8日～13日	1.5次避難者の健康管理等	9名

## 第2節 関係機関との連携

### 1 地域保健・医療・福祉連携対策連絡会

表1 地域保健・医療・福祉連携対策連絡会の開催状況

(令和5年度)

会議名	実施日 開催場所	参集者	出席人数	目的	会議内容
石川中央医療圏地域・職域連携連絡会	令和5年 10月18日(水)	石川産業保健総合支援センター、石川中央地域産業保健センター、全国健康保険協会石川支部、金沢衛生管理者研究会、白山商工会議所、管内各市町の保健事業担当課、石川県健康推進課	14名	地域・職域におけるがん検診受診率の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・がん検診・診断などの状況</li> <li>・市町におけるがん対策の状況</li> <li>・職域におけるがん対策の状況</li> </ul>

## 2 糖尿病重症化予防ネットワーク事業

糖尿病医療については、保健と医療が一体的に対策を推進することを目指して、第6次石川県医療計画（H25～）から、郡市医師会単位で取組んでおり、平成30年度から開始された第7次石川県医療計画でも引き続き推進することとなった。糖尿病患者の早期発見・早期治療や重症化予防のための診療連携体制の構築を図ることを目的としている。

表2 管内糖尿病重症化予防ネットワーク協議会の開催状況 (令和5年度)

	白山野々市地区糖尿病重症化予防ネットワーク協議会	河北地区糖尿病発症・重症化予防ネットワーク協議会
委員	公立松任石川中央病院、公立つるぎ病院、医師会、眼科医会、歯科医師会、薬剤師会、栄養士会、白山市、野々市市、保健福祉センター	金沢医科大学病院、河北中央病院、医師会、眼科医会、歯科医師会、薬剤師会、職域（金沢医科大学、PFU）、かほく市・津幡町、内灘町、保健福祉センター
事務局	公立松任石川中央病院	金沢医科大学病院
協議会	①令和5年9月26日（火）16名参加 ②令和6年3月18日（月）書面	①令和5年10月3日（火）25名参加 ②令和6年3月28日（木）書面
主な事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医師向け糖尿病スキルアップ研修会</li> <li>・コメディカル研修会 テーマ「糖尿病と合併症」</li> <li>・症例検討会 白山市・野々市市から3症例 かかりつけ医も参加し、症例の重症化予防に向けた具体的取組を話し合う</li> <li>・糖尿病重症化予防パンフレットを更新し、白山・野々市地区の医療機関に配布</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「保健医療連携体制」の取り組み継続</li> <li>・河北郡市糖尿病懇話会の開催 糖尿病治療の最新の話題提供 各市町の保健指導の取組報告 症例検討会（かほく市・津幡町・内灘町から3症例）</li> <li>・糖尿病重症化予防の健康まつりの開催</li> <li>・患者・住民向けパンフレット等追加作成</li> </ul>
成果発表会	令和6年2月頃開催予定であったが、能登半島地震の発生により開催延期	

### 3 市町支援

地域の健康課題解決のため、市町の保健・医療・介護・福祉等会議への参画や保健所主催による会議・研修会等を開催している。

#### (1) 保健福祉事業連絡会

例年、市町と保健福祉センターの保健福祉事業について協働して取り組むため、支援要望の確認や意見交換のため各市町を巡回して保健福祉事業連絡会を開催している。令和5年度は日程調整ができず、白山市と津幡町の実施となった。

#### (2) 市町支援実績

表3 市町支援状況

(令和5年度)

	保健 ・地区 診断 の 策定	母子 保健	健康 増進	介護 生活 支援	歯科 保健	感 染 症	精神 保健 福祉	難 病	介護 保険	健康 危機 管理	そ の 他	計
実施回数 (回)	1	98	14	13	2	7	11	0	18	12	26	202
参加延人数 (人)	13	1,022	185	198	20	92	165	0	159	71	476	2,401

※市町が主催した研修会・会議等で行った市町支援も含む。

## 第3節 調査研究

### 1 北陸公衆衛生学会（第50回）

開催日：令和5年11月27日（月） 開催地：富山県 発表方法：口頭発表

#### 新型コロナウイルス感染症患者管理に対する ICT 活用の一例

河畑 沙織、窪田 篤瞳、北野 浩子、東田 裕之、川口 喜仙、木曾 啓介（石川県石川中央保健所）

〔はじめに〕

当保健所では、令和2年3月9日に初めて新型コロナウイルス感染症患者の届出があつて以降、患者の調査や健康観察等の感染症対策を行ってきた。発生の状況は令和2年の1日の最大届出数は17名、令和3年は31名だったが、令和4年1月26日には144名の届出まで増加し、その後もほぼ毎日100名を超える届出があつた。

日ごとに拡大する業務を処理するため、HER-SYS（新型コロナウイルス感染者等情報把握・管理支援システム）から「患者管理シート1」・「患者管理シート2」や「相談受理票（調査票）」を効率よく作成するシステムを構築した。

〔患者管理方法〕

- ①システム導入前の状況は、医療機関からのFAXやHER-SYSに入力された新規患者の届出情報を保健所のホワイトボードに転記して患者番号を割り振ることにより、患者の調査状況等の管理を行っていた。しかし、毎日の届出数が100名を超えるようになると、ホワイトボードによる転記では処理しきれなくなつてしまい、優先度の高い患者は、その旨を明記するようになっているにもかかわらず、調査に漏れや齟齬が生じやすく、患者に連絡するまでに数日かかる場合も見られるようになった。件数が増加するに比例して、事務作業に多くの時間を要していた。
- ②そこで、EXCELを用いた「患者管理シート1」を作成し、HER-SYSの発生届の内容を目視で入力・転記して受理票を印刷する方法を模索・検討した。ところがHER-SYS利用開始当時、CSVダウンロードは実用的ではなかったため、HER-SYSからデータを取得するため、画面から保健所職員が目視でデータを閲覧し、EXCEL「患者管理シート1」に打ち込むという非効率的な方法を取らざるを得なかった。
- ③このような状況が続けば近々、保健所の人的処理能力の限界を超え、新型コロナウイルス感染症対応体制を維持できなくなることが懸念されたため、作業を効率化するツールを作成することで新たな対処をすることが求められた。誰もが日常的に利用でき、かつ、使いやすさを考慮した結果、EXCELのマクロ機能を活用したプログラムファイルで作業を行い、HER-SYSから必要なデータを取得する方法を選択した。
- ④具体的には、HER-SYSの画面から個々のデータを全選択機能でコピーを行い、EXCELのシート上に列毎に患者データを貼り付け、EXCELのマクロ機能を利用し一括又は件数に応じて変換できるように改良した。結果、300人程度の患者の必要なデータを一括してEXCELの別シートに「患者管理シート1」用データとして抽出できるようになった。また、「患者管理シート1」には、高齢者や妊婦など重症化リスクの高い人、医療従事者や高齢者施設職員などクラスター対応を考慮する必要のある人など、調査を優先する必要のある患者を自動的に色分けするなどの工夫を行うことによって、必要な対応への迅速化も図った。
- ⑤これらのプログラム化により当初、一人の患者につき「患者管理シート1」に転記するのに2～5分程度の時間を要していたが、当該自動化による転写を行うことで、300人の患者のデータを8分程度の処理時間で作業を行うことが可能となった。
- ⑥また「患者管理シート1」の情報を基に「相談受理票（調査票）」と「患者管理シート2」を作成した。「患者管理シート2」により、パルスオキシメーターの送付や食料品の支援、就業制限通知の発出、ホテルや医療機関への入退院管理等を行うことで、患者の情報を一元化して管理することができるようになった。



〔結果・考察〕

新型コロナウイルス発生時は、この様な状況が3年余の間、かつ複数の波を繰り返し、増加することは考えられなかったことであり、令和4年1月から始まった新型コロナウイルス感染症「第6波」では、当保健所でも感染者数がこれまで以上に急増し、患者調査前の事務処理にも多くの時間を費やすことになった。県庁等から事務応援職員の派遣はあったものの、それを上回る処理件数のため、その作業が追い付かない状況となっていた。

今回の新型コロナウイルス感染症対応は、国の主導により全国的にHER-SYSが導入され、発生届が医療機関から比較的容易に保健所に送付されるようになり、国と保健所の両者間の事務の効率化が図られたものの、その一方、保健所においては、事務処理は従来の手作業により行われたため、患者数の増加と相俟って、事務処理が滞るのは予想され必然であった。

幸運にも当保健所にはシステムエンジニアの業務経験を有する職員が在籍しており、その職員の発案と作業により、今回紹介したシステムを構築することが出来たが、その発案動機は、①この状況が続けばやがて事務処理は破綻するという危機感、②破綻を防止するために何らかのシステムが必要であり、更にそれはEXCELマクロ等の誰でも利用出来るものでなければならないとの思い、③自分にはそのシステムを作成出来るという確信によるもので、プログラムの作成は、休憩時間等を利用して10日程度で完成させたとのことであった。その結果、「患者管理シート1」の作成が容易となり、比較的円滑に患者等へのファーストコンタクト等を行うことが出来、その他の情報も併せて、患者情報の一元管理が可能となったものである。

今回の一連の新型コロナウイルス感染症対応では、全国共通として保健所業務の逼迫が問題となった。各自治体・保健所とも様々な対応・工夫を講じてきたが、業務の自動化・機械化に向けた今回のシステムの構築は、そうした対応・工夫の一環であり、業務の効率化に大いに寄与したと考えられる。

厚生労働省では「医療DX令和ビジョン2030」の実現に向けた推進チームが設置され、保健医療福祉分野においても今後ICT技術を用いたDXが進むと考えられる。保健所としては、こうした機会を利用して、新型コロナウイルス感染症対応に止まらず、今後共業務をより効率的・効果的に進めていくための対応・工夫を行っていくことが必要ではないかと考える。

作業の流れ

1

データ取込み① 画面コピー

2

3

4

データ取込み④ データ加工用シートに貼り付け

患者管理シート1

通報 No. (診断日-○)	患者名 (※他の診療科より入力可能)	年齢	特記事項 所属	基礎疾患等	第一報	疫学調査 担当	調査日

相談受理票

新型コロナウイルス感染症相談受理票 (相談先: さいたま市保健所)

要理口 / 相談者: / 通報口: /

相談受理票

**対象者**

氏名: / 性別: 男 / 年齢: / 職: )

TEL: / / 住所: /

〒 /

基礎疾患等: 糖尿病・心血管疾患・呼吸器疾患・ステロイド・免疫抑制剤・透析・その他 ( / )

身長 cm / 体重 kg / BMI / 喫煙 / / / /

採血日: / / 判明日: / / 検体: 鼻拭液・唾液・尿液 / 方法: PCR・抗原

検査結果: /

SMS 完了日: / / 日付: / /

検査先: 在宅・ホテル・病院 / 保健師: / /

検体先: / /

検査日: / / / / / / / / / / / / / / / / / / /

検査相当: SPO<sub>2</sub> / / / / / / / / / / / / / /

症状: 咳 / / / / / / / / / / / / / / / / / / /

有: / / / / / / / / / / / / / / / / / / /

なし: / / / / / / / / / / / / / / / / / / /

発症日: / /

患者管理シート2

検査日	検査時間	検査方法	結果	検査結果	検査結果	検査結果	検査結果	検査結果	検査結果	検査結果	検査結果	検査結果	検査結果	検査結果	検査結果	検査結果	検査結果	検査結果	検査結果	検査結果		
																				検査結果	検査結果	
1/7																				検査結果	検査結果	
1/7																					検査結果	検査結果
1/7																					検査結果	検査結果
1/7																					検査結果	検査結果

## 第4節 指導監査・実地指導

### 1 社会福祉施設指導監査

表1 社会福祉施設指導監査状況

(令和5年度)

施設種類及び施設数	目的	内容
老人福祉施設：11 児童福祉施設：37 障害者施設：1	社会福祉法人、社会福祉施設の事務処理及び運営等が適切に行われるよう、実施指導を行い、社会福祉の推進を図る	・利用者及び職員の健康管理 ・災害対策 ・感染症防止及び衛生管理 ・事故防止、身体拘束等防止 ・個別援助計画の把握 など

※ 令和5年度は、令和6年能登半島地震対応のために例年より実施数は減少した。

### 2 介護保険

#### (1) 介護保険関係業務

表2 介護保険関係業務一覧

(令和5年度)

区分	業務内容
介護保険事業計画に関すること	・管内サービス基盤及びサービス提供等の現状把握 ・市町介護保険事業計画協議会等への参加
介護認定に関すること	・要介護認定に係る訪問調査員に対する研修の実施補助 ・介護認定審査会委員に対する研修の実施補助
介護保険審査会に関すること	・介護保険認定に関する処分の審査請求に係る専門調査
介護保険施設等従事者への研修	・高齢者施設職員への研修（感染症、口腔ケア）
高齢者虐待防止に関すること	・高齢者虐待防止ネットワーク会議等への参加
市町及び介護保険施設等への指導に関すること	・介護保険市町（保険者）事務支援の実施 ・介護保険施設等実地指導の実施

#### (2) 介護保険市町（保険者）事務支援状況

介護保険法第5条、第197条第1項及び地方自治法第245条の4の規定に基づき、介護保険制度の円滑な実施を図ることを目的に実施する。

表3 介護保険市町（保険者）事務支援状況 (令和5年度)

区分	市町名
実地調査	金沢市、野々市市、津幡町、内灘町
書面調査	かほく市、白山市 ※書面調査については、県長寿社会課が、令和6年能登半島地震対応のため例年通りの実施が難しいと判断し、石川県から結果通知を出さず、書面審査の市町分の調書を一覧にしたものを共有することとなった。

(3) 介護保険施設等実地指導状況

石川県介護保険施設等指導監査要綱等に基づき、介護サービス事業者等のサービスの質の確保・向上を図ることを目的に実地指導を行う。

表4 介護保険施設等実地指導状況

(令和5年度)(件)

区分	介護老人福祉施設	介護老人保健施設	介護療養型医療施設	介護医療院	居宅介護サービス											
					居宅介護支援	訪問介護	訪問入浴	訪問看護	訪問リハ	居宅療養	通所介護	通所リハ	短期生活	短期療養	特定施設	福祉用具
件数	8	1	0	1	0	1	1	1	1	0	6	2	8	1	2	0

## 第5節 研修・学生指導

### 1 地域保健従事者への研修・連絡会

健康課題解決のため、関係者への知識・技術等の習得に係る研修・連絡会を企画し実施した。

表1 地域保健従事者向け研修状況

(令和5年度)

項目	日時・会場	対象	内容	参加者数
がん検診関係者連絡会	令和5年8月9日(水) 14:00~16:00 石川県庁	管内市町がん検診担当者	<ul style="list-style-type: none"> <li>石川県生活習慣病検診等管理指導協議会での結果を踏まえ各市町でご検討いただきたいことについて               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 受診率向上に向けた方策について</li> <li>(2) 精検受診率について</li> <li>(3) 検診の精度管理について</li> <li>(4) その他</li> </ol> </li> <li>意見交換</li> </ul>	10名
歯周病予防対策研修会	令和5年9月13日(水) 13:00~15:00 オンライン研修	管内市町歯科保健・保育担当者、管内保育施設職員	<p>報告1「管内の乳幼児歯科保健の現状について」 担当：当所企画調整課 保健師</p> <p>講演「子どものむし歯予防と口腔機能について」 講師：石川県歯科医師会 公衆衛生担当理事 江尻歯科医院 院長 江尻 重文 氏</p> <p>報告2「金津こども園におけるフッ化物洗口の取り組み」 講師：かほく市立金津こども園 園長 吉田 美希 氏</p>	29名
特定給食施設調理従事者等研修会	令和5年10月6日(金) 14:00~15:30 オンライン研修	学校、病院、児童福祉施設、高齢者施設、事業所等の特定給食施設に勤務する調理従事者等	<p>講義1「給食施設における衛生管理」 講師：当所食品衛生課 薬剤師</p> <p>講義2「大量調理での減塩の取り組み」 講師：やわたメディカルセンター 管理栄養士 漆原 真姫 氏</p> <p>情報提供「健康づくり事業紹介及び情報提供」 担当：当所企画調整課 管理栄養士</p>	108名
特定健診・特定保健指導情報交換会	令和5年10月13日(金) 14:00~16:00 石川県庁	管内市町特定健診・特定保健指導担当者	<ul style="list-style-type: none"> <li>特定健診・特定保健指導の実施状況について</li> <li>意見交換</li> </ul>	10名

※例年開催している管内栄養士等研修会、新任保健師研修会フォローアップ研修は令和6年能登半島地震の対応を優先するため実施を見合わせた。

## 2 医師臨床研修

平成16年度から医師に対する2年間の臨床研修が必須化（医師法等の一部改正）され、「地域保健・医療」研修の一環として保健所における研修を実施している。

表2 医師臨床研修受入れ状況

(令和5年度)

病院名	研修医数	研修期間
受け入れなし	-	-

## 3 学生実習指導等

### (1) 学生実習オリエンテーション

看護学生及び公衆栄養学実習生に対する保健所の業務内容の説明

表3-1 オリエンテーション開催状況

(令和5年度)

日時	学校	参加者数
令和5年4月26日(水)	県立看護大学	81名
	金沢医科大学看護学部	
	金沢大学医薬保健学域保健学類看護学専攻	
	金城大学公衆衛生看護学専攻科	
	県立総合看護専門学校第三看護学科	
	金沢学院大学人間健康学部健康栄養学科	
	神戸女子大学家政学部管理栄養士養成課程	

### (2) 現地実習

看護学生、管理栄養士学生に対する各課担当者からの講義及び演習等

表3-2 現地実習状況

(令和5年度)

学校名	学生数	実習期間
県立看護大学	29名	令和5年5月、6月、7月 (1日間)
金沢医科大学看護学部	12名	令和5年6月 (2日間)
金沢大学医薬保健学域保健学類看護学専攻	6名	令和5年7月 (2日間)
金城大学公衆衛生看護学専攻科	9名	令和5年9月 (1日間)
金沢学院大学人間健康学部健康栄養学科	6名	令和5年8月、9月 (5日間)
神戸女子大学家政学部管理栄養士養成課程	1名	